

主な内容

- 第1回定例市議会一緊縮耐乏型予算のなかで景気刺激と軒先整備を最重点に……………2P
- たばこ消費税伸び悩み「たばこは市内で買しましょう」に愛煙家のご協力を……………3P
- 国際青年年を契機として一若者よ未来への原動力となれ……………4・5P
- 郷土探訪の終筆にあたって一宮武紳……………6P

● No. 412 ● 昭和60年3月1日発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/大洋印刷



大自然の中で心地良い汗

第4回登別白樺りんどうコース

歩くスキーの集い

2月17日(日)第4回歩くスキーの集いが新登別から地獄谷までの「登別白樺りんどうコース」で行われました。

参加者は4歳から69歳までの約200人で、過去最高の人数となり主催者側も満足顔。風もほとんどなく、絶好のコンディションの中、参加者は思い思いのスキーウェアに身を包み、シラカバ林の中へスキーを滑らせました。

今年新しく設定されたコースは、新登別～加車山白樺林～日和山～大湯沼～地獄谷で約10キロ。参加者は、橋湖や湯煙が立ち上る大湯沼をのぞみながら大自然を十分に満喫していました。また、約3時間後には全員が完走し、入浴とぶた汁で体をいやしていました。

とかく冬の間は運動不足になりがちですが、運動不足解消のために皆さんも歩くスキーにチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。

3. '85
1

第1回
定例市議会

緊縮耐乏型予算のなかで景気刺激と 軒先整備を最重要点に

新年度予算案などを提案

昭和六十年第一回定例市議会は、三月四日から開会される予定です。

この定例市議会には、新年度予算案をはじめ、国保税率の引き下げ、登別市企業立地振興条例の制定など報告三件議案二十四件が提案されます。

今号では、今議会に提案される主な案件についてお知らせします。

富士地区コミュニティ広場建設事業などが目玉に

新年度予算案は、不況による市税収入の伸び悩みのほか、国の補助金のカットの影響をともに受け、非常に厳しい財政状況のなかで、景気刺激と市道舗装や排水整備など軒先の整備を最重点に予算編成が行われました。



4月1日から一部供用を開始する鉄南ふれあいセンター

この結果、一般会計予算案は、百二十六億七千九百万円で昭和五十九年度当初予算に比べて〇・五%の伸びにとどまり、特別会計（国民健康保険、観光、公共下水道、亀田記念公園、老人保健）と水道事業会計を合わせた全会計の合計は百八十九億二千七百三十四万円で、同じく昭和五十九年度当初予算に比べ二・三%の伸びにとどまる緊縮耐乏型の予算となりました。

このうち一般会計の事業費は二十三億九千万円で、市道舗装や排水整備に六億五千万円のほか富士地区コミュニティ広場建設事業に四千六百七十万円など、市内経済の活性化に重点を置いて事業を組んでいます。

昭和六十年で行う事業は、四月一日号で詳しくお知らせします。

今回の議会には、各種手数料や使用料の見直しも提案されます。これは受益者負担の原則と近隣市町とのバランスを考へて実施するもので、これまで市民は無料だった火葬場の使用料が六千円に、市営住宅使用料も平均で十二・四%値上げします。このほか印鑑証明は一枚二百円から三百円に、住民票は百円から二百円に見直しをします。このようにしてご理解をお願いします。

国民健康保険税、昭和六十年でから平均三%引き下げ

市の国民健康保険税が、昭和六十年で平均三%引き下げられます。

改正の内容は国保税のうち所得割を現行の十三%から十二%に、また資産割を五十五%から三十%にそれぞれ引き下げ、均等割（一万四千円）と平等割は据え置き。課税限度額は現行の二十八万円から三十万円に引き上げるものです。

これにより年収二百二十五万円で固定資産税を四万一千円納めている三人家族の標準

家庭では、税額が現行の年額二十二万九千四百五十円が二十万七千九百円になり、二万一千五百五十円（九・四%）の減となります。

市の国保会計は昭和五十八年度にそれまでの赤字経営から黒字に転換し、本年度も約四千万円の黒字になる見込みです。

今回の引き下げは、この二年連続黒字の実績に加え、老人保健制度の施行や、健康保険法改正による加入者の保健意識の高揚と、医療費の

の鈍化などが主な理由です。国保引き下げによる国保会計の減収は、事務の合理化や収納率のアップなどで対応

することになっています。今議会には引き下げによる関係条例の改正案を提出するものです。

驚別公民館、鉄南ふれあいセンター 待望の供用開始へ

市では昭和五十九年度を「文化振興の年」と位置付け、地域文化活動やコミュニティ活動の拠点としての施設整備を行うため、驚別地区に「驚別公民館」を、幌別鉄南地区に「鉄南ふれあいセンター」を建設しています。

現在工事が進められていますが、ほぼ完成しそれぞれの地域でその威容を誇っています。

「驚別公民館」は六月一日にオープンするため登別市公民館条例の一部改正を、「鉄南ふれあいセンター」は四月一日に一部供用開始するため条例の制定をそれぞれ今議会に提案するものです。

また、幌別生活館として体不自由児通園施設のぞみ園は、この「鉄南ふれあいセンター」に移転するため、これらの条例の一部改正を提案します。

企業の誘致促進に登別市企業立地振興条例を制定

当市における企業の立地や振興を図り、地域経済活性化と雇用機会の拡大を図るため、市内に事業場を設置する者に対し助成措置を行う「企業立地振興条例」を制定し今議会に提案します。

この条例は、製造業と先端技術関連施設を対象に適用するもので、助成内容は施設設置補助金として固定資産税と都市計画税相当額に対し、三カ年順次百分の百以内、百分の七十五以内、百分の五十以内の比率で補助するものです。

適用要件は、土地を除く固定資産投下額が三千万円以上の事業場の新増設で、新たに雇用した常用従業員が二十人以上（先端技術関連施設は十

八人以上）であることなどで、また雇用補助金は、常用従業員一人当たり十万円を乗じた額（限度額一千万円）を補助するものです。適用要件は土地を除く固定資産投下額が一億円以上の新設（増設は五千万円以上）で、新たに雇用した常用従業員が三十人以上（増設は十五人以上）であることなどです。

これらのほか今議会には、使用料、手数料の一部見直しに關連する条例などの一部改正や、明星大学誘致決定に伴う道路整備を行うため、明星学苑通りの市道路線認定などについても提案しています。

たばこ消費税伸び悩み

「たばこは市内で買いましょう」 に愛煙家のご協力を



たばこ消費税は、日本専売公社が市内の小売人に売り渡したたばこに対してかかる税金です。

小売たばこの価格には、すでに一箱につき約三十四円のたばこ消費税が含まれていますが、実際にこの税金を負担しているのは愛煙家の皆さんです。

このたばこ消費税はすべて市の収入となり、大変貴重な財源となっています。具体的には昭和五十九年度の市税三十五億六千七百万円のうち約八パーセントを占める二億八千四百万円にものぼっているのです。

しかしここ数年、たばこの市内での売り上げが伸び悩んでいます。昭和五十八年度では約一億七千三百万本消費されていたものが昭和五十九年度では約一億七千百万本になる見込みです。

このことは直接たばこ消費税の伸び悩みにもつながり、市の財政にも重大な影響を及ぼしています。

この原因としては、健康上の理由からたばこをひかえる方がふえていると同時に愛煙家の方々がたばこを市外の勤務先で買った、出張先で買った

々するため市内のたばこの売り上げが減少しているものと思われまふ。市の貴重な財源であるたばこ消費税を増加させるため、

愛煙家「たばこを市内で」 地場産品の羊肉と生ラーメン

市内の牧場で生産されている羊肉と製めん会社の生ラーメンが、登別郵便局の「ふるさと小包」に指定され、昨年十二月から取扱いが始められています。

地場産品の育成と郵便事業の業績アップを狙ったこの「ふるさと小包」は、昨年から道郵政局でも本格的な商品開発に取り組みようになり、現在の指定商品は八十八品目。十勝ワインや鹿追そばをはじめ胆振地方では白老牛や虎杖浜の減塩タラコが道郵政局の指定商品になっています。

今回指定を受けたのは、札内町の牧場で生産されている登別物産協会の羊肉や羊肉のソーセージ、くん製、みそ漬けなどの加工品。もう一品目は、市内新栄町の製めん所で生産している商工会議所北の味の会の札幌ラーメンです。

価格は羊肉のソーセージとくん製、みそ漬けの詰め合せセットが道内、青森まで三千九百五十円、秋田や岩手など



愛煙家の方は是非市内でたばこをお買上げにご協力ください。また、出張や旅行の際は市内でたばこを買いたい方のために出かけるようご協力願います。

東北地方まで四千円、その他の都道府県四千二百五十円となっています。また「札幌ラーメン」は、三十食入りスリーブ付きで市内が二千四百九十円、室蘭や札幌までが二千六百三十円、その他の地方は速達小包扱いとなり料金アップとなります。

登別郵便局では、代金払い込み用紙のついた二品目のチラシを、全国の郵便局に備え付け、どこからでも申し込みできるようにしています。

皆さんも地場産品育成の意気込みをお送り物などにご利用されてはいかがでしょう。

土木課は、皆さんの日常生活に最も関係の深い道路や河川などの新設、改良及びこれらの維持管理補修などを行ってまいります。職場は三階で土木係、維持係合せて二十名で業務を担当しています。

土木係は主に、国や北海道の補助による道路や橋りょうの新設改良事業の企画や調査、設計、監理及び工事の施行を行っています。また、河川の改修事業や小規模治山事業の調査、設計、工事の施行もこの係の仕事です。

現在進めている主な事業としては、昭和五十八年九月二十四日の大雨で氾濫し、市内に大被害をもたらしたサト岡志別川を日の出球場の横を通って海にぬくサト岡志別災害関連事業をはじめ、国庫補助事業による西富岸川河川改修事業、道路関係では、防衛庁補助事業のカルルス路線改良事業、国庫補助事業の東札内路線改良事業などがあります。また北海道補助事業としては小規模治山事業などがあります。

このように土木係の仕事は規模の大きなものが多く、道路の改良や河川改修事業の工事を進めるうえでどう

こんにちは 市役所です

土木課

しても用地の買収等の必要が出てくる場合がありますが、その節はよろしくご理解とご協力をお願いします。また、工事中の現場は非常に危険ですので絶対近づかないようお願いいたします。

◎維持係
維持係は、主に市内全域の市道と排水路の老朽化や破損に対処し、年間を通じて小規模な維持補修工事を行っています。

現在市道は大小合せて約キロも
あります。この維持管理には多額の経費を必要としますが、厳しい財政事情のもとで限られた予算のため、皆さんの要望を一度に行うことはなかなかできません。経済効果や緊急度の高いものから順次実施しておりますのでご理解をお願いします。

◎冬期間の除雪の仕事もこの係の担当です。今年には特に雪が多く、除雪には職員が二十四時間体制で対応しています。しかしせっかく除雪した雪をまた道路に捨てる方がいたり、路上駐車のため除雪ができないうちが冬を過ごすため除雪にご理解とご協力をお願いします。

◆ こんにちは市役所ですは、今回をもって終了します。

二十一世紀にむけ街づくりが進められていく中で、市民の間にもさまざまな活動が芽ばえ育ってきています。これら活動の中核をなすのは若者たちであり、そのエネルギーがユナ行動力ではないでしょうか。

今年、国連で定めた「国際青年年」です。参加・開発・平和というテーマを基に、青年が社会参加をどのように進め、また、自分たちに与えられた課題にどのように取り組むべきか喚起をうながしています。

そこで、今号では現代の若者の現状や考え方について探ってみました。また、積極的に街づくりや社会参加をしている若者にもお話を聞いてみました。

若者らしさとは

しさととは

高きものへの憧憬、価値あるものへの感激、深いものへの魅惑、魂を震わすものへの涙、若者が若者らしい時、野中の一本杉の如くに、まっすぐであり単純である。それが若者という年令と境遇と釣合って調和の美を發揮すると、「学生に与う」(河合栄治郎著)の本の一節にあります。

この本から、私たちが若者に描くイメージは、「失敗を恐れず、エネルギーシユに行動する姿。目標となるべき人との出会い、楽しい語らいの表情」などです。

「次代を担う、若者として大きく成長してもらいたい」と、若者に期待もかけているわけです。

現在、登別市内には約一万一千人の若者が住んでいます。

若者の現状は

現状は

「大きいことはいいことだ。消費は美德だ」と、言われた高度成長時代の過剰なくら

つれて、若者が実社会に巣立つ時期が遅れ、社会の中で自らの力で生活の糧を得るという体験が繰り延べられ、親への依存期間が長くなり、社会に出ることをためらう人間になっていきます。

このほかにも、産業・都市化といった社会環境の変化に伴いさまざまな原因が考えられますが、この様な若者を創り出したのは言うまでもなく大人世代ではないでしょうか。

若者自身にも、甘えにあまんとじていた責任があることも確かです。

その起因となるものは

では、なぜ若者たちがこの様な考え方や行動を取るようになったのでしょうか。

何をすべきか

現代に生きる若者たちが、次の時代を担う世代として成長していくには、自分たち若者を取り巻く現代の状況について認識を深め、自分の行動、社会との関係などを判断できることが必要です。

国際青年年テーマ 「参加・開発・平和」

「参加」とは、青年が個人として、また社会の一員として判断・決定する機会を確保すること。

「開発」とは、青年が自らの人格的成長をはぐくみ、個人の能力を高めるとともに、地域や国の発展に貢献すること。

「平和」とは、青年が国際社会の一員として、国際交流や国際協力を通して相互理解を深め、平和に貢献すること。

力となれ

若者の声

街づくりの起爆剤に

若者たちの多くは、社会に無関心。それに、自分の殻に閉じ込められがちで、ごく身近な人とのつながりしかないと思えるんです。

登青連は、演劇やフォークグループ、ボランティアサークルといった団体で構成され「社会参加」を積極的にしている若者の集合体です。

ですが、どのサークルも団員が少ないのが現状です。ですから、交流・親睦に重点を置いた事業運営に



登別青年連盟連絡協議会 理事 仙台 正夫さん

まず仲間づくりを

これからの農業経営をよりよくするには、個人の力だけでは難しいと思うんですよ。

私たち若者が、お互いに意見や情報交換をすることが必要になりますね。

その意味で、まず仲間づくりをし、交流を深めよう

とできたのが農業後継者クラブなんです。

昨年に続き、今年も予定している畜産まつり「大地の祭典」を、若者たちの仲間づくり地域の人たちとの交流の場としたいですね。

今の若者は、どちらかと言うと自分から進んで行動しようと思いません。働きかけや呼びかけられるのを待っている受け身人間になっていくのではないのでしょうか。

若者でなければできないことって、あると思うんです。第一、僕らは若くエネルギーシユ。それを生かして



登別農業後継者クラブ 会長 小森 秀幸さん

掛けています。人と人がふれあい、お互いを知ることによって、若者の間に仲間意識が強まり、連帯感が広がることは街づくりの起爆剤になっていくことになるからです。

また、大勢の仲間とともに体験・経験を積み重ねていくことは、自分自身を磨くためにも、とてもプラスになると思います。



街かどで若者にインタビュ
ーをしてみました。
—あなたは、個人やサーク
ル活動を通じて社会参加をし
ていますか—
答、関心がない。第一、ど
んなサークルがあるのかわか

の弊害を叫ぶ社会のなかで
自己形成や価値観を養ってき
た若者たち。そのため、「苦
勞をしろない」「意欲や根氣
に乏しい」と、いわれる精神
的甘さと脆さを持った人間に
育ってきたと思います。
また、高学歴社会が進むに

自分自身で環境を創り変えて
いく前向きな姿勢を持つこと
が大切です。それが、自から
落ちこぼれていくことを自戒
し、より建設的な自己開発に
つながるのではないでしょ
うか。

国際青年年を契機として

若者よ未来への原動

人づくりの一翼を担う

次の世代、二十
一世紀は私たち若
者が、背負ってい
かなければならな
いのですが、まだ
まだ社会に対する
意識が低いと思っ
ますね。
私たち青年会議
所は「見直そう郷
土、高めよう郷土
意識、広げよう市
民との連帯」をス
ローガンに、街づ
くり運動を展開し
ようとしています。
そのためには、
まず参加、そして
行動を起すことで
若者を育てる人づくりをす

目的意識をもって前進

昨年六月、JC青年の船
に参加する機会があり、素
晴らしい体験をしてしまし
た。

台湾、香港と回る十一日
間、船内でいろいろな国の
若者と一緒に共同生活をし
たのですが、外国の若者
は主体性や行動力がありま
すね。

交流の場での彼らの話題



JC青年の船参加者
伊藤 淳子さん

も、若者が国際社会の一員
としてどういう役割を果す
べきかといった世界的なこ
とが多く、とても視野が広
いと感じました。
日本の若者は、といいま
すと、自分のことや友だち
といった身近な話題が多い、
考えが狭く、消極的すぎる
と思うんです。
若者はもっと前向きに、
いいものはどんどん吸収し
ながら前進すべきではない
でしょうか。もちろん自分
も含めてですが。
今、自分を高める意味で
ボランティア活動をしてい
ます。目的意識をしっかりと
持って、社会参加をして行
こうと思っています。



登別青年会議所
理事長 岩井 重憲さん

郷土史探訪の

終筆にあたって

宮 武 紳 一

(登別市郷土文化研究会)



登別の歴史を分りやすく市民の方々に知らせ、郷土理解に役立てようと市が企画し、掲載し続けた「郷土史探訪」も昭和五十一年四月の第一号から約十年の歳月を経て百号を迎えたということです。記述の長短より十年前の登別の自然の姿を思う時、大層原が埋め立てられ、原野が町と化し、山麓に住宅が建ち、札内台地は開発され北海道縦貫自動車道建設の土音も高く工事が進められていることなどの今日を思うと、時の流れの早さと比較して自然の大きな変り様にただ驚くばかりです。

郷土史探訪のことは、一号から十号までは市立図書館勤務で大学後輩の桜井大君が記述し、私が書いたのは十一号「登別の開拓と動物たち」から今日までで、桜井君と終結の喜びを共にしたい気持ちです。

登別も他の地区と同様に、郷土の研究は遅れていました。登別の大地に悠久に続いた時の流れを今残しておかねばという焦り、登別の大地で生きた人々の足跡を今自

分達が引き継いでいるのだという事実を思う時、登別高校で昭和四十年郷土史研究会を作りました。

そして、生徒とともに古老を訪ね、聞き取り、調査をすすめ、山野を歩き旧跡を訪ね、史跡の実証の為に遠く函館図書館、北大北方資料室、道庁資料室、日高方面の二風谷、平取方面に出かけました。江戸場所請負時代、開拓使以降の登別市の研究やジョン・パチエラ、知里真志保、金成マツさんなどを通じてアイヌ語地名やアイヌ文学、アイヌ歴史(登別における)も多く学習することが出来ました。

特にこの時代、考古学関係で、登別・室蘭・伊達方面の遺跡発掘の際北大の大場利夫教授、札幌医大の峰山巖教授らの指導のもと約十年間発掘調査の学習に参加しましたが、四十二年発行の「登別町史」で登別町の遺跡紹介のほとんどが生徒とともに発掘した場所、名称、遺物の調査であったことのうれしさは忘れ得ません。

郷土史探訪は、郷土意識を高めるための一助として、平易に取り上げ、分野も地史的に登別の山や川などの自然環境、動植物・生物そして先史時代の遺跡関係、一般通史では幕政時代・藩政時代の幌別場所と明治以降の開拓史、農・水産・鉱業などの産業経済史、登別の風俗、伝承、史蹟など多岐にわたり記述しました。

しかし、特に後半、字数の制限や資料不足で意をつくせぬことが多かったことをおわびしたいと思えます。

長い記述の期間でうれしかったことと一地理関係では生徒のクラブ員とともに約六百万年前のホルテベクテンの発掘を契機に札幌教育大学の春日井昭先生が幌小時代の親友であったこと、クッタラ火山の研究が一層進められたことです。先生を中心とした方々が昨年、登別化石林を発見され、全国で紹介されたことは市民の方がたもご承知の通りで、郷土を愛する春日井先生との握手は感激でした。

また、北大、教育大、北方資料室、開拓記念館の諸先生や地方史研究の多くの知己を得、特にアイヌ語研究の山田秀三先生には現在でもご指導を受けているなど冥利につきます。

そして、大勢の方がたから励ましの手紙やお言葉を頂き、テープの吹き込みで福祉活動に利用したり、家内で読み聞かせたり、父母の昔話や自分達の郷土の話題となったというお話、そして巡見活動の案内依頼や本にまとめて欲しいなど、反響の多かったことと郷土を知ろうとする方がたの多いのに驚きました。

一方、聞き取り調査では、約五・六十人の古老の方がたから昔の思い出を伺ったことは忘れられない出来事です。

年代不順ですが、カルルス温泉というより登別市の歴史を語ってくださった日野昇さん、幌別鉱山の千葉ミカさん、知里博士を語る

山崎正一さん、煙草栽培の井上藤吉さん、山田先生・知里先生の師ともいえる板久孫吉さん、富岸入植の竹中清さん、ジョンパチエラを語る平野繁雄さん、その他、森直樹さん、湊沢キクエさん、三好秀一さん、山木サキノさん、田代茂さん、そして片倉家を語る紺野キミさんら数えるときりがなく、明治生まれで聞きとり調査の時は八十・九十歳であり、現在は既に

他界され今は同うことのできない方がたばかりです。

それでも、まだまだ語ってくださる方もいるでしょうが、考えてみると戦後史も遠くなりつつあります。

なお暢陽の節を期し、思いのままに勉強もしたいのですが、今日までのご愛読に感謝しつつ筆を止めます。

郷土史探訪・最終回

編集後記

大和町2丁目の国道・国鉄沿線を富岸郷別町方面にかけては、鈴蘭の名所であったことが知られています。鈴蘭の咲く6月初旬には臨時列車が出て室蘭方面からも鈴蘭狩りに、特に若い人達にとつては、鈴蘭のロマン的香りとともに思い出の多い多感な日々もあったことでしょう。

郷土史探訪から

昭和五十一年四月一日を皮切りに本紙に掲載を続けてきた郷土史探訪は、今回をもって終了することになりました。

広報のぼりべつからご愛読者の方がたとして約十年という長期間にわたって執筆を続けていただいた宮武紳一先生に心から厚くお礼を申し上げる次第です。

郷土史探訪では、先史、伝説、遺跡、風俗、開拓史などいろいろな分野にわたる登別の歴史を皆さんに紹介してきましたが、冒頭の一節のように、文章は単に史実を列挙したのではなく、宮武先生の郷土愛でつづられてきました。

しかし、編集にあたっては、いただいた原稿がすべて載せられず抜粋しながらつなぎ合わせるという結果になってしまいました。先生の意になわなない文章になったことを深くおわび申し上げる次第です。

自分の目で確かめよう!
避難方法と周囲の状況

3月7日～13日「建築物防災週間」



つい最近、当市の美園町で大災が発生し、老人2人が焼死するという痛ましい出来事がありました。また、58年の集中豪雨では建築物などが大きな被害を受け、皆さんの中には今だに生々しく記憶されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

災害は忘れたころにやってくる。といいますが、こうした被害を最小限に食い止めるためには、やはり日ごろの点検や心づかいが大切です。

時々、自分の目で建物や周囲の状況を見直してみることは、万一の際に大きな効果があります。3月7日から13日までは「建築物防災週間」。この機会に、あなたの身近な建物や周囲の状況を見直してみましよう。

小・中学生の

就学援助を行います

市教育委員会では、六十年度も学校へ提出していただきます。経済的に困りご家庭の小学生・中学生のために就学援助を行います。

ご希望の方は、就学援助費用の申請書(用紙は学校にあります)に記入のうえ、必要を証明書などを添えて三月二十三日(新入学生は四月二十五日)までに在学する

▽生活保護法で、保護を停止または廃止された場合は、各種税金のなかで、非課税、減免、免除のいずれかに該当した場合
▽長期の病気や事故、災害などで

経済的に困っている場合
▽その他、特別な事情がある場合
◎援助の主な内容
学用品費、通学用品費、校外活動費、新入児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費など

◎申請書に添付する証明書
給与所得の源泉徴収票または所得証明書、年金などがある場合は(二人以上所得がある場合は、それぞれの所得証明書など)を申請書と一緒に在学する学校に提出してください。

部登別中央部会
▽教材費 5000円
▽定員 36名(なお、前回12月13日の講座に参加した方は、ご遠慮願います)

▽用意するもの 筆記用具、前掛け
▽申込受付開始 3月7日・午前9時から
▽申込・問合先 市社会教育課(TEL 81100)

60年度消費生活のモニターを募集

道と市では、生活必需品の価格や出回り状況、物価問題に関する情報などを収集し、消費者の意見や要望を消費者行政に反映させるため、北海道消費生活・物価モニターと登別市消費生活モニターを募集します。

▽資格
○道モニター：市内に居住する20歳以上の方
○市モニター：市内に居住する20歳以上の主婦
▽募集人員
○道消費生活モニター：6名
○道物価モニター：12名

魚のおろし方を学びませんか

市教育委員会では、魚のおろし方や生煮しの作り方など、板前さんによる料理教室を開催します。

▽日時 3月13日(水) 午前10時～午後2時
▽場所 市民会館
▽講師 北海道全調理師会室蘭支部

○市消費生活モニター：15名、アパート希望者：5名
▽条件 道南バスの工學院線各停留所から歩いて5分以内の所
▽問合先 日本工學院北海道専門学校(TEL 0888)

下宿・アパートの空室ありませんか

日本工學院北海道専門学校 日本工學院北海道専門学校では、六十年度の入学希望者が多く、学校寮では収容できなくなりました。現在、空室をお持ちの方で工學院生を入居させたい方は、次のとおり説明会を行いますので、ご出席ください。

▽日時 3月10日(日) 午前10時から
▽場所 日本工學院北海道専門学校
▽入居者数 下宿希望者：15名、アパート希望者：5名
▽条件 道南バスの工學院線各停留所から歩いて5分以内の所
▽問合先 日本工學院北海道専門学校(TEL 0888)

カルルス温泉 スキーまつり

第二十一回カルルス温泉スキーまつりが、三月九日・十日の両日カルルス温泉スキー場で開催されます。

▽問合先 観光課(TEL 42068)
カルルス温泉スキー場管理事務所(TEL 42872)

映画会のご案内

市民会館では、次のとおり親子名画劇場、登子連映画会を行います。お気軽におこしください。

▽親子名画劇場
▽上映映画 かきこ地ぞう、月の峰の狼、ゆかいな仲間
▽日時 3月10日(日)
1回目：午前10時30分から
2回目：午後1時30分から
▽場所 市民会館
▽入場料 無料
▽問合先 市民会館(TEL 81100)

▽上映映画 ぼくは5歳、国松まのお通りだ
▽日時 3月16日(土) 午後1時から

▽上映映画 ぼくは5歳、国松まのお通りだ
▽日時 3月16日(土) 午後1時から

今年も少年滑降大会、雪上ジギスカンパーティーなどのプログラムを用意しています。ご家族そろって多数お越しください。

▽主なプログラム
▽3月9日(土) 雪中宝探し：午後1時、雪上ジギスカンパーティー：午後2時、リフト招待券抽選会：午後3時
▽3月10日(日) 市民歩くスキーの会：午前10時、みかん拾いの会：午前10時、みかん拾いの会

市民会館では、次のとおり親子名画劇場、登子連映画会を行います。お気軽におこしください。

▽親子名画劇場
▽上映映画 かきこ地ぞう、月の峰の狼、ゆかいな仲間
▽日時 3月10日(日)
1回目：午前10時30分から
2回目：午後1時30分から
▽場所 市民会館
▽入場料 無料
▽問合先 市民会館(TEL 81100)

▽上映映画 ぼくは5歳、国松まのお通りだ
▽日時 3月16日(土) 午後1時から

奨学生を募集します 登別育英会

財団法人登別育英会では、60年度の奨学生を次のとおり募集します。対象は、高校、高専、大学、日本工學院に今年4月から入学する方で人物、学業ともに優秀で経済的理由から就学が困難な方です。

- ▷出願の資格
 - 登別市民の子弟であること
 - 他から奨学金の給与を受けていないこと
 - 身体強健、学術優秀、品行方正、思想堅実で学資にとほしい方
- ▷採用予定人員 高校…6名以内、大学…4名以内、高専…1名程度 工學院…2名以内
- ▷給与月額 高校生…5千円、高専生…8千円、大学生…1万5千円 工學院生…1万円
- ▷提出書類 奨学生給与願書、奨学生候補者推せん書、家庭状況調査書、収入証明書、健康診断書、成績証明書、住民票謄本
- ▷願書提出期限 3月30日
- ▷願書の提出先 財団法人登別育英会事務局(市民会館内・TEL 81100)



一つのことばに夢中になると周囲のことが目に入らなくなる



よしあしにかかわらず、大人や年上の子のマネをする



「危ないよ」「注意してね」といった抽象的な言葉ではよく理解できない



物陰で遊ぶ傾向がある

これが子供だ！
大人とは違う行動パターン
新入学(園)児の交通安全

市民憲章

ふれあう心の合言葉

自然を愛し力をあわせて、緑と空気と太陽のいっぱいあるきれいなまちをつくりましょう。

焼死者事故をなくそう

- 火災が発生しやすい時期です。悲惨な焼死事故を防止するため、次の点に注意しましょう。
- 老人や子供は避難しやすいところへ避難させましょう。
- ストーブのそばに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 外出時には暖房器の火を必ず消しましょう。
- 天ぷらをあげるときは、その場を離れないようにしましょう。
- 寝タバコは絶対にやめましょう。



焼死者事故防止強調運動

無料で縦覧できます

固定資産課税台帳

固定資産課税台帳の縦覧は、地方税法によって納税者の皆さんに固定資産の価額をお知らせするとともに、異議申し立ての機会を保障するものです。

▽期間 4月8日～27日まで（日曜、祝祭日は除く）午前9時～午後5時10分（土曜は正午まで）

▽場所 市役所一階・課税課資産係窓口（支所では縦覧できません）

▽対象者 納税義務者およびその家族（本人、家族、法人の代表者以外の方がこられたときは委任状が必要です）

▽持参する物 印鑑

▽縦覧できる台帳 土地課税台帳、土地課税補充台帳、家屋課税台帳、家屋課税補充台帳、償却資産課税台帳

3歳児健康診査

医師、歯科医師、保健婦、栄養士による3歳児健康診査を実施します。

▽内容 心身の発育状況、歯科検診、尿検査、栄養指導、生活指導

▽実施月日・会場 3月13日／個別公民館

▽受付時間・対象地区

- 午前10時～11時：鷺別、美園、上鷺別、大和、若山3・4丁目
- 午後1時～2時：若草、新生、栄、富岸

▽対象児 56年11月1日から57年2月28日までの出生児と前回受診もれの幼児（ただし、56年7月1日～10月31日までの出生児で満4歳児を除く）

▽用意するもの 母子健康手帳、



3カ月検診

※尿検査は会場で行いますので、ご注意ください。

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程・会場・対象地区

3月27日：婦人センター（登別）

不用品ダイヤル市



⑤2111 内線257

おわけします（売り）

ベッド（セミダブル、ダブル）
 応接イス（4点）、冷蔵庫（1ドア、3ドア）、加湿器、フィギュアスケート（19cm）、スケート靴（ホッケー用25.5cm）、オルガン（電動式）、石油ストーブ（持ち歩き用）、マッサージ一式、アンマ器（イス付）

ゆずってください（買い）

段ベッド、ベビーベッド、ベビー用食卓イス、歩行器、電気モチつき器、ビデオコーダー、カラーテレビ、ふとん乾燥器、婦人用自転車、フィギュアスケート（19cm）、スキー（120cm）
 スケート（23～24cm、19cm）、スキー一式、スケート（ホッケー用23cm）、エレクトーン、オルガン、ピアノ、石油ストーブ90ℓ ホームタンク、冷蔵庫（2ドア）

母子・児童相談

子供の非行や登校拒否、しつけ、

・登別温泉地区）
 3月28日：鷺別公民館（鷺別地区）
 3月29日：労働福祉センター（鷺別地区）

▽受付時間 正午～12時15分（ただし、婦人センターは12時30分～12時45分まで）

▽対象児 59年12月出生児（婦人センターは59年11月、12月出生児）

▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

自閉症、養護、ことばの障害、児童施設入所などでお困りの方はお気軽にご相談ください。

◎相談日／場所

▽毎日：午前9時～午後3時（土曜、日曜、祝日を除く）／市役所市民相談室

▽室蘭児童相談所の定例相談：3月20日（水）午後1時～4時／青少年会館（市立図書館）

※室蘭児童相談所が行う「定例相談」を希望される方は、あらかじめ市役所市民相談室へお申し込みください。（TEL ⑤2111 内線212）



※期間中は、無料で縦覧できます。詳しくは、課税課にお問い合わせください。（TEL ⑤2111 内線230）

献血にご協力ください

次の日程で街頭での献血を行います。皆さんのご協力をお願いします。

▷ 3月27日（水）温泉パラダイス…午前10時～正午
 観光協会前…午後1時～4時30分



所得税の申告と納税は期限内に

室蘭税務署

昭和三十九年分の所得税の申告と納税はもうお済みでしょうか。

期限はどちらも三月十五日です。申告と納税は必ず期限内に済ませましょう。

確定申告をしなければならぬ人が、三月十五日までに申告をしなかったり、間違った申告をしたりすると、後で不足の税金を納めるだけでなく、不足額の十パーセントまたは五パーセントの加算税が課され、延滞税も納めなければなりません。また、不正な行為があったような場合には、普通より重い加算税が課されます。

▽問合先 室蘭税務署（TEL ④4322～4151）

